

2021.5.12 悠久山栄養調理専門学校

学校関係者評価委員会記録

1 日時 場所 出席者等

2021.5.12 (水) 14:00~15:30 悠久山栄養調理専門学校 401 教室

出席者 松田トミ子さん 小村 隆司さん 佐藤文子さん 野元真善さん
学校側 井上 武田 加藤 川上 松川

2 資料等

事前配布 令和2年度学校運営の自己評価
令和3年度事業計画と評価計画
3月末 学生募集状況 (含む経年変化)
直近の学生あてコロナ感染症関連伝達文書

当日配布 本日の要項 3月作成の2022年度用学校案内

3 会の次第

- 2020年度事業計画の評価について
- 法人と学校の動きについて
- 2021年度事業計画と経営方針、自己評価目標について

4 委員の皆様からのご意見より

- 私立学校の使命を明確に自覚して、学校運営にあたってもらいたい
- そのための教員研修の重要性は高い
- 授業計画とその評価について明確になっていると感じられる
- 学校のPRにいっそう力を入れることが大切である
- 学校への信頼性と卒業後の仕事の定着率とは連動するだろう
卒業後のアフターフォローに工夫が必要であろう
- 50年の歴史があり活躍している卒業生も多く、同窓会の機能的な運営を
ぜひ実現したいものだ

5 学校より

- 事務の各種保護者あて依頼は信頼関係に直結、十分な留意を要する
- 同窓会を機能的に運営できる方途をさぐっている
- 実習では班内のコミュニケーションが大切であり、教員と助手は配慮に努めている
- 就職先とのミスマッチのため、早期退職する学生が散見される
- 学校と法人は車の両輪、実際の運営や組織の改善のためには事務部の充実が必須で 共
同研修を進めていきたい

6 全体を振り返って

本校は今年度で創立50周年、卒業生5000人を輩出している。少子化あるいは産業構造や雇用情勢、生活スタイルの変化、また食をめぐる技術革新などにより、学生確保にはなおいっそうの工夫や努力が必要となっている。教職員一人一人の力量を向上させ、「力のある学校」づくりに今後とも注力をする。